

m a e n o h a

maekawa living magazine まえのは

2024

— 初
夏
号

小さな繋がり、幸せの味。





池田 あゆみ

立山町利田/
洋菓子のお店 RITTA

あのひと
の暮らし

訪ねた人：松居 剛志

木の香株式会社前川建築 工務部 統括本部長

洋菓子を通して、 人をつなぎ、笑顔を増やす。

富山では、この土地ならではの歴史や風土を受け継ぎながら、日々、新しいまちの魅力が創り出されています。前川建築のスタッフが、仕事や暮らしの中で出会った魅力的な方たちをご紹介しますこのコーナー。

第7回は、立山町にある「洋菓子のお店RITTA（以下、リッタ）」の店主兼パティシエール・池田あゆみさんを、前川建築の統括本部長を務める松居剛志が訪ねました。

閑静な住宅街にあるリッタ。来客を笑顔で迎える池田さんは、「お客様のリクエストを聞いて作るのがすごく好き」と、注文を受けてから主に誕生日ケーキと焼き菓子の詰め合わせを作る

というスタイルをとっている。予約制の洋菓子店なのだ。ケーキの場合は、好みの生地やフルーツなどをリクエストできるとあって、大切な人への贈り物を求めて訪れる人が多い。「相手に喜んでほしいという気持ちですごく伝わってくるので、私も心を込めながら作っています。お子さんが1歳の時から毎年頼んでくださるお客様もいらして、健やかな成長を感じながら作ることもあります」と微笑む。



上／ケーキを通して、池田さんとの温かい交流を育んでいる松居は、「弊社のバーベキューの時に注文した大きなケーキも、みんなに好評でした。美味しかったです」と笑顔で話す。 下／リッタの店内は味わい深い雰囲気。一人でも立ち寄りやすい。



下／店内のドライフラワーにも心が和む。「お客様は、予約制というスタイルを温かく受け入れてくださっている方ばかり。とても感謝しています」と池田さん。

一人ひとりと直接会っているいろいろな思いを受け止め、出来上がったものを直接手渡す。だからこそ、より一層思い入れが増すのだろう。

そんな池田さんの1日は、3人のお子さんを送り出すことから始まる。そして午前中に予約のケーキなどを仕上げ、その後仕込みに励む。夕方には、帰宅する子どもたちに「おかえり」と言える環境でもある。

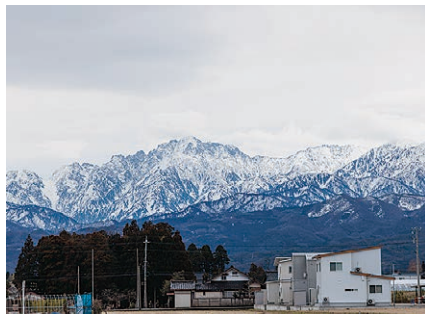
「もともとお菓子を作ることが好きでした。友達や家族に喜んでもらえることが嬉しかったです」と話す池田さんがパティ

池田 あゆみ
Ikeda Ayumi

魚津市出身。高校卒業後、県内の洋菓子店やホテルのケーキ部門で働いた後、洋菓子のお店RITTAをオープン。3人のお子さんを育てながら、店主とパティシエールを兼任している。その他にも「でこぼこ保護者会」の運営や、立山町商工会青年部での活動など、幅広く活躍中。



上／立山町を愛する池田さんは、立山町商工会青年部にも所属している。「町の祭りやイベントを少しでもお手伝いできることがすごく楽しくて。青年部のおかげですね。ずっと続けていきたいです」と池田さん。 下／リッタのある住宅街では、立山連峰を眺めながら散歩している人が多い。



から調子に乗ってやっているんですけどね笑。ケーキがとっても美味しいから、みんな誕生日を楽しみにしているんです」と松居も笑顔を見せる。

リッタのケーキの美味しさが、前川建築全体に広がったのは、感謝祭の時。松居がケーキを注文し、みんなで食したことがきっかけだ。美味しさのあまり、多くのスタッフが誕生日ケーキを注文するようになっていった。また、niwanosoとの関係も深い。これまでに「焼き菓子の日」や周年祭、ワークショップ

などでお菓子や技術を提供していただいた。ウェディングの撮影で使用したケーキも池田さんの手作りだ。

「自分ができる範囲で」と、謙虚な姿勢で洋菓子づくりに向き合う傍ら、2023年には発達の特性を持つお子さんや不登校のお子さんを持つ親のためのコミュニティ「でこぼこ保護者会」を発足した。池田さんが求めている場所を自ら作り出した形だ。以来、1時間半ほどお茶を飲みながらおしゃべりをする座談会を月に1回開催している。親同

士だからこそその気楽さが魅力。参加者はみんな笑顔になって帰っていくそうだ。

松居が訪ねたこの日、リッタはリフォーム工事中だった。新たに飲食スペースを作るためだという。「オープン日はまだ決めていませんが、子育て中の女性やお子さん、ご高齢の方がふらりと立ち寄れる場所になれば良いなと思っています」と微笑む池田さん。人と人を緩やかにつなぎ、地域に笑顔の数を増やしていく。



洋菓子のお店 RITTA
〒930-0275
富山県中新川郡立山町利田1765-5
<https://www.facebook.com/RITTAyougashi/>



シエールを志したのは高校生の頃。卒業後、県内の洋菓子店やホテルのケーキ部門で実践的に経験を積んだ。出産を機に退職したが、独立起業の夢があった。飲食業界に携わり続けるためにカフェでアルバイトとして働いた後、経営コンサルタント会社で知識を蓄積。そして2017年に念願のお店を開いたのである。

ちょうどその頃、お店に客として訪れたのが、松居剛志である。仕事で付き合いのある池田さんのご主人からリッタの話を聞いたのがきっかけだ。以来、松居は家族一人ひとりの誕生日が近づくたびに誕生日ケーキを注文するようになった。そのケーキには、奥様やお子さんにまつわるエピソードが表現されている。「松居さんはご家族一人ひとりの好きなものをすごくよく分かっていらして。いつもすごいなと思っています」と微笑む池田さん。「家族が喜んでくれる

上／約6年前から、護国神社の朝市(毎月第1日曜開催)に出店し、塩味のキッシュとフルーツのタルトを販売している。また、焼き菓子は、JAアルプス味覚の郷で販売中。 下右／niwanoso周年祭でのアイシングクッキーづくり体験の様子と、「水橋温泉ごくらくの湯」で開催したごらくマーケットに出店した時の様子。 下左／松居が娘さんに贈った誕生日ケーキ。絵のモチーフは、娘さんが幼い頃に大事にしていたぬいぐるみ。





5 May

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6 June

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7 July

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 海の日	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8 August

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 山の日	12 振替休日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

あ の 家 の 住 ま い 方

富山市・T様邸
2016年新築

キャットウォークの上で丸まる猫。T様邸に住んで3年半になる。もう一匹の猫は、ロフトかどこかで自由に過ごしている。ご夫婦の休日は、猫と一緒にリビングでのんびりと過ごすことが多い。奥様は、2階の窓がお気に入り。ソファに座りながら、吹き抜けを通して空を眺められる。その吹き抜けに架かる2本の梁は、2匹の猫のためのもの。遊び場として活躍している。

春や秋には、庭で過ごす時間が多い。ユーカーリ、クチナシ、アオダモ、ジューンベリー、ヤマボウシ、モミジなどはご夫婦で選び、芝も二人で張った。晴天の日は椅子とテーブル、パラスルを用意し、昔のカセットテープをラジカセで聴きながらゆったり過ごすこともあるという。緑が暮らしの中に違和感なく溶け込み、豊かな時間を育んでいることもT様邸の魅力だ。そんな庭のそばには小屋があり、中にはとても小さな部屋がある。外に住み着いて2年になる猫のためにご主人が作り上げた。「庭で寛いでいると、猫たちが膝の上のつかってくるんです。女房が庭仕事をしている時もずっと後をついてまわるんですよ」と相好を崩す。

22年のキャリアを持つ建具職人。「木を切ることはほぼ遊び」と、薪ストーブに必要な薪割りも趣味として楽しんでいる。テレビボードや建具、キッチンの上部にある棚もご主人の力作。その棚は、奥様がお気に入りの雑貨を飾るためのものだ。「この家にはほぼ満足しています。今の暮らしをずっと続けていきたいですね」と微笑むご夫婦。猫や緑とふれあう瞬間が積み重なり、穏やかな明日につながっていく。

「マンションに暮らしていた頃は仕事帰りに寄り道していましたが、まっすぐ帰宅するようになりましたね」と微笑むご主人。

3 庭を囲むようにして設置された薪棚も、ご主人の手作り。薪は無料配布のものを利用して、機械を使って薪割りをやっている。4 リビングの大きな窓から自由に出入りできる庭(写真は草木が生い茂る時期に撮影したもの)。春や秋は、お昼ご飯を食べたり、ウッドデッキで寛いだり、緑が常にそばにある暮らしを満喫できる。「庭の草むしりは2人で、雪吊りは主人がしてくれています」と微笑む奥様。



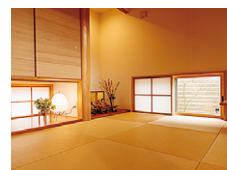
tips:4

ご主人が作ったキッチンの上部にある棚。シンプルな雑貨が好きな奥様への思いが形になっている。



tips:3

花が好きな奥様の日課は、庭に咲いている花を摘んで室内に飾ること。テーブルの上も彩り豊かに。



tips:2

和室の地窓の前は、お風呂上がりにライトアップした坪庭を眺めながら、ゆったり寛げるスペース。



tips:1

ご主人が手作りのテレビボードは、機能性とデザイン性を兼ね備。リビングに調和している。

1 開放的な吹き抜けを通して、陽光がたっぷり差し込むT様邸。猫も心地よさそうである。1階の開部分には夜になると、カーテンではなく、障子の最高傑作と言われる「吉村障子」が活躍する。2 リビングの一角に設置された薪ストーブ。炎のゆらめきがご夫婦の心を癒している。



WEDDING
niwanoso

2w
no
s

niwanosoのウェディングサービスが本格OPEN!



前号でもお知らせしていたniwanosoのウェディングが5/18に
ついにOPENいたします。緑との暮らしをお手伝いする
niwanosoが提案する、築130年の古民家・埜の家での「家族を
はじめる日」。niwanosoと埜の家 2か所の会場使用や装飾、
フォトウェディングとお料理などを基本プランとして、あなたら
しく、大切な人たちとの時間を大切にできるように様々なプラン
をご用意しております。また、MAEKAWAグループオーナー様

向けの特別なプランもご提供いたします。ご興味のある方は、
前川建築、コノカの営業担当者にお気軽にお声かけください。
Instagramに随時情報を投稿いたしますので、こちらもぜひ
ご覧ください。

Instagram



5/18
オープン



event

「ごくらくマーケット」開催!

5/12日 10:00~16:00

MAEKAWAグループの(株)縁溜が運営する、水橋温泉
「ごくらくの湯」で小さなお祭り、「ごくらくマーケット」
を開催します。美味しいFOOD&Drink7店舗、楽しい
WORKSHOP5店舗が出店。先着100名の限定く
じ引きもありますので、温泉のついでに個性豊かなマ
ルシェを楽しんでください!

参加
無料

詳しくはこちら



スタッフ紹介

MAEKAWAグループのスタッフに、休日の過ごし方や、お気に入りのモノ・コトを聞きました。

Taishi Maehata

前畑 大志

● 前川建築 大工統括

シンプルな暮らしを目指し、
本当に気に入った物しか買わ
ないようにしています。その
ひとつがバイク。上司から原
付でのツーリングを勧められ
たのがきっかけでバイクの魅
力にハマリ、約3年前から大
型バイクに乗るようになりました。
自然との一体感、風を
切る爽快感がたまりません。
仕事では新築工事の段取りを
組んでいます。新しい住ま
いのお客様にとってお気に入り
の空間になるよう、丁寧に
取り組んでいます。これから
は複数の資格の取得、バイク
での遠出にチャレンジしてい
きたいですね。



お気に入り

「Kawasaki」のバイク(Z900RS)。旧車のよ
うな見た目でありながら、最新技術を搭
載。大型バイクならではの加速感や安定感
に加え、乗り心地も最高です。

お気に入り
愛する暮らしと
創造する仕事と。



Yuka Ema

江間 友香

● 縁溜 広報・アシスタント

夜に空を仰げば、きれいな
星が見られます。この地域に
暮らす方々に愛される場所づ
くりができるよう、「楽しく」
をモットーにアシスタント業
務に取り組んでいます。趣味
は、昔ながらの喫茶店で過ご
すこと。初めて訪れた時、マ
スターや常連さんに話しかけ
られたのがきっかけで、通う
ようになりました。ここに友
達と集まって旅行の行き先を
決めることも、私の楽しみ。
今までで特に印象に残ってい
る旅行先は福岡です。夜の屋
台での食べ歩きがすごく楽し
かったですね。これからは音
楽も楽しんでいきたいです。



お気に入り

2年ほど愛用している食器は、友達からのプ
レゼントがほとんど。デザインも気に入って
いますが、友達の気持ちが1番の宝物です。

きれいな星のもと
プライベートも
仕事も楽しく。



編集後記

5月は新緑が美しい季節。GWの連休で旅行やアウトドアなど楽しめるイベントが盛りだくさんですね。MAEKAWAグループでも新たなプロジェクトに向けて活気に満ちた日々を過ごしています。SNSやウェブサイト、次号のmaenohaで少しずつ取り組みについてご紹介できればと思っておりますので、ぜひご覧ください。



m a e n o h a 2024 初夏号

2024年5月1日発行

企画・取材・文／まえのは編集部

編集／広報部

写真／松井 洋貴

イラストレーション／おざわ さよこ

エディトリアルデザイン／ワークス

発行／MAEKAWAグループ

〒930-3221 富山県中新川郡立山町四谷尾691-4

Tel : 076-462-0611

<https://maekawa-kenchiku.com/>



表紙写真：洋菓子のお店PITTAの店内を彩るドライフラワー